

アジアの留学生「中大」を語る



文学部社会情報学科
2年 盧元培君
(韓国)



商学部商学・貿易学科
3年 ハーマーウインさん
(ミャンマー)



経済学部国際経済学科
3年 林治国君
(台湾)

司会 留学生数約450人を数える中央大学は、今年から国際交流活動がさらに活発になります。その最初ともいえるものが、国際交流センターの支援のもとに発足した、学生主体の団体「SPUTNIK」の誕生です。活動の手始めに6月20日に「SPUTNIK」は、11号館で中国、ミャンマー、韓国、台湾、ドイツ、フィリピンなどの留学生と日本人学生の約130人が集まって多国籍料理パーティーを開きました。留学生が母国の料理を持ち寄って、それを食べながら懇親を深めようという目的で開かれましたが、炊き込みご飯やおいなりさんといった日本料理も「特別参加」するなど大いに盛り上がり、パーティーは大成功に終わりました(6頁に写真)。「SPUTNIK」のチーフ・石上君(法3)は「留学生と一般学生とを結ぶ貴重な場を提供することが願いです」と

「SPUTNIK」旗揚げを機に

話してくれました。

これに合わせて、きょう(7月5日)、今度は私たち学生記者が留学生の有志が集まっていただき、「アジア留学生座談会」を開くことになりました。中央大学の留学生は、アジアの方たちがほとんどですが、一般学生はその留学生と触れ合う機会は少ないようです。そこで、留学生皆さんの目に映った中央大学、中央大学生、自分の将来など、正直な感想をうかがうことによって、学内の国際交流を一層活発なものにしていきたいと思います。では、よろしくお願いいたします。

(司会役のシディキ ムニブ君は、日本在住のパキスタン人ですが、留学生としてではなく、一般学生として商学部に入学。学生記者としても活躍中です)

日本文化を、貿易学びたい、日本に一番近い

広報課長 私は6月末まで学長室の秘書課長をやっていて、留学生の会に学長と一緒にいたり、留学生と触れ合う機会が多かったのです。その前にも文学部で留学生担当をしていましたので、留学生との関わりは深かったのです。今回は日ごろ、皆さんが感じていることを言っていただいて、それを『Hakumon ちゅうおう』を通じて一般学生に知ってもらい、留学生にとって、より過ごしやすいキャンパスになることを願っています。

学生記者 まず、皆さんの日本留学のきっかけについて、また、中大を選んだ理由などをうかがいます。

盧 私の場合は韓国の短大を出たのですが、就職もうまくいきませんでした。韓国の受験も専門が厳しいだけで、点数だけで評価されてしまうという弊害があります。そこで、本当にやりたいことを考えて日本への留学を決めました。文学部の社会情報学科で、パソコンや新聞論、放送論について勉強しています。

学生記者 本当にやりたかったことというのは、それですか。

盧 はい。いままでは韓国は文化解放が出来ていなかったのですが、大統領が代わってからは、だんだん解放されているようです。これからは韓国でも、日本のCMなどが放送されることになると思うので、日本の文化を理解している人が必要ではないかと思ったのです。

ヘーマーウイン 私はミャンマーの大学2年生のとき、軍事政権によって大学が閉鎖され、それがきっかけで日本への留学を決めました。

林 台湾にいたとき、日本語を少し勉強していたので、もっと上手になりたいと思いました。中途半端にすくなかったのです。しかし、言葉だけでは足りないと思ったとき、国際経済、とくに台湾と中国の貿易関係に興味を持ち、国際経済学科に入りました。

盧 韓国では英語圏への留学が多いですね。しかし、私が中大を選ん

もっと交流図りたい



意見を出し合う学生記者と留学生

聞き手

▼学生記者Ⅱ(司会) シティキ ムニブ、玉井 安子、木瀬 恵子、大谷 秀之 ▼広報課長Ⅱ外村 幸雄

だ理由は、自分がやりたい学科がある大学だったということ、高校の第二外国語で日本語をやっていたこともありませう。

ヘーマーウイン ミヤンマーでは化粧品など、日本のブランド製品が英米仏などより高いんです。高いからとても人気があって、貿易をするなら日本のものを売りたいという気持ちになりました。日本に来て2年間、日本語学校に通っているうちに、中大に「商業・貿易」という、私のやりたいピタリの学科がありました。それとミヤンマーの言葉と日本語は文法がとても似ているので、マスターしやすいということもありました。漢字は難しく苦労したけど、興味があつたので……。

林 私が日本を選んだ理由は3つあります。1つは、日本語を上達させたかったこと。2つ目は、中国も英語圏への留学が主流ですけど、僕は他の人とはちょっと違うことをしたかった。つまり、日本が台湾に一番近くて、またアジアをリードする日本に来たら、絶対に勉強になると思いました。3つ目は、中央大学はキャンパスが大きく、一番大学っぽい。父に中大を勧められたことも事実です。

人間関係が一番、難しい

学生記者 先日、ベトナムの留学生と話しました。その時に「母国へのどのくらい帰るの?」と聞いたら、「この3年間に一度しか帰っていない」という返事でした。やはり、旅費の問題が一番大きいと思います。皆さんはそのへんはどうなんでしょうか。また、普段はどんな方法で家族と連絡を取っているのですか。電話とか、手紙とか、Eメールとか。

盧 年に2度は帰ります。連絡は電話です。手紙は書きませぬね。

広報課長 韓国は近いですからね。近い、イコール安い?

盧 いやあ、高いですよ(笑い)。ほとんどの人が韓国でチケットを買いますね。それでも夏などは特に高くて……。

ヘーマーウイン 私は年1度です。あまり帰らないとストレスがたまつて狂いそうになるんです(笑い)。自分の国の言葉をしゃべつてい

ないし、大学では、日本語ばかりだし。

広報課長 すると習慣とか、文化的なことより、言語の問題の方が大きいということですか。

ヘーマーウイン 人間関係が一番大きいですね。友だちとうまくいかなかったり……。日本の友だちは私が日本語が上手だから、あまり違和感がないみたいなんです。私が時々、自分の国の感覚で考えたりすると、日本の友だちから「日本人には主張したらダメだよ」とか、「日本人に合わせなければダメだ」って、いわれるんです。

学生記者 むしろ、それは日本人の方が考えを改めなければいけないケースも……。

林 僕は年に1度しか帰りません。旅費つてこともありますが、せっかく日本にいるんだし、卒業後は多分、台湾に帰るわけですから、いまのうちに日本のあちこちを回っておきたいんです。もちろん、両親が私に会いたがっていることはわかっていますが、多分、向こうへ帰つてもやることはないな(笑い)。きつと、食べたり遊んだりで過ごしてしまいます。普段の連絡は電話ですね。それより、できたらパソコンとか、デジタルカメラを買いたいですね。そしたら自分が勉強している姿を、向こうの家族に見せてあげられるし……。お金があれば(笑い)。

学生記者 とところで台湾では総統選がありましたね。日本にいても、気にはなりましたか。

林 台湾の未来に関わっています。わざわざ投票のために帰国しようという動きまでは発展しなかったのですが、大いに気になりました。台湾にいたころは、自分の国に関心がなかったけど、日本に来て自分が留学生として、外国人として、国の重要性を感じました。

留学生に慣れていない日本人学生

学生記者 私たちは留学生の友だちがたくさんいるとは思えません。

反対に、皆さんは日本人の友だちが大勢いると思いますか。また、一般

学生が皆さんに対する接し方をどう思いますか。

盧 友だちの問題は自分次第だと思います。僕は結構いますよ。ただし、こちらから先に話しかけるといのが、ちょっと難しいですね。それと韓国では年齢の差が大切で、年長者に対しては絶対に従うという意識が強いですから、最初のころは年齢差に慣れるのが大変でしたよ。

広報課長 韓国は兵役がありますよね。年齢的にはプラス日本語学校に行っていた時期がありますからね。

盧 はい。だから男子学生の場合、日本人と同じ学年でも3〜5歳以上の年齢差があるわけです。

学生記者 日本だと年齢は違っても同じ学年なら、対等に話すのが普通ですからね。

ヘーマーウイン 私は日本人学生は最初のうちは珍しがって声を掛けてくれるのですが、あとは知り合い程度で深く付き合えないんです。日本人はグループを作るのが好きで、仲間に入れるとか入れないとか、こういう考え方は、私には付いていけなかったです。日本人学生との今の付き合いは、あいさつ程度ですね。

学生記者 そういう日本人学生は多いのですか。

ヘーマーウイン 多いと思います。パーティーなどで日本人学生に会うと皆が同じ質問をします。例えば、「日本に来て何年?」とか、「日本語が上手だね」とか。私の考えでは、恐らく「私たちが日本へお客さんとして来て、お客さんとして帰ってほしい」のだと思います。きつとどこの国も自分の国のいいところだけ見せて、いい思い出になったと思わせて、帰ってほしいんですよ。でも、私はもう4年も日本にいて、ずいぶん見て知っているつもりなんです……。

学生記者 ウーン、なにか寂しいですね。

ヘーマーウイン 「いつ、帰るの」と聞かれて、「まだ、いますよ」って答えると、「なんだ、長くいるんだね」っていわれて(笑い)。

学生記者 「なんだ」っていうのは、軽い気持ちでいったつもりで、

別に悪気があったわけではないと思いますが。

広報課長 日本人学生が留学生に慣れていなくなっていうのもあるのではないかと思います。留学生の数を増やしたいですね。

学食でもどんどん話しかけてよ

学生記者 これに関連した話で、今春卒業した韓国の女子学生が「私たち日本人との境い目を作っている原因は、日本人にもあるんですよが、留学生側も悪いと思います」という話が、とても印象に残っています。彼女は「相互の歩み寄り」が足りないということを指摘していました。やっぱり、留学生も固まっちゃっていますよね。

盧 むしろ、逆に日本人学生の方が固まっちゃっているんじゃないですか。彼らは仲間に入るのが非常に難しいから、留学生同士で固まらざるをえない。

学生記者 その意見はずっと平行線でしょうね。学食などで留学生同士が自国語で話している光景をよく見かけます。それを見ると「日本語で話さないのかな」とか、「日本人と話さないのかな」って思ってしまうんですよ。私たちも仲良くなれたらという気持ちはあるんですが、やはり話かけづらくて……。

盧・ヘーマーウイン どんどん話かけてほしいですよ。

学生記者 それはお互いが思っていることなんですよ。やっぱり、そこに「歩み寄り」の気持ちが欠けているんじゃないでしょうか。もう一つ、これもベトナム留学生の話ですが、留学生はバイトがいっぱい入っていて、サークルなどに時間を割いていられないといっていました。

盧 僕もそうです。留学生のサークル加入は少ないと思います。

林 留学生のほとんどは4限か5限の授業のあと、バイトに行くという生活をしているので、サークル活動は無理です。自分の生活を確保する方が先ですからね。すると、結果的に日本人の友だちは出来にくくなる。留学生のほとんどは東南アジアなので、経済的に余りよくない状況

のなかで、友だちを作るまでの余裕はないですね。せつかく日本にいるのだから、できるだけ人脈を広げたいのですが……。

日本人学生の協力が欲しい

広報課長 留学生は普通の授業を受けていても人一倍、苦労しますよね。予習・復習をちゃんとやらないと、ついていけないから、時間にゆとりがない。だから、大学がもう少し、奨学金などの面で厚く考えたいですね。そうすることで、本来の学生生活が確保できると思います。

また、一つの学科をマスターするにも、日本人学生のフォローが必要だと思います。お互いに文化的な面でもいろいろな影響を受けるだろうし、「助け、助けられる」という関係がいいんですよ。

ヘーマーウィン 本当は私たちは日本人学生の協力がほしいんですけど、授業中に読み方がわからない漢字が出てきた時、友だちによく聞くことがあるんですが、先生から見ると、おしゃべりしているように見えるらしく、「授業の邪魔になる」と叱られたことがあります。だから、日本人学生をチューターとして、付けてくれるようなシステムができてくれればうれしいと思います。

学生記者 普通の学生は、留学生がそういう苦労をしているということに、なかなか気が付きませんよね。

広報課長 留学生たちは多分、日本人学生以上に目的意識がしっかりしていると思います。財政的な負担を親に強いて来ているわけですから、勉強意識は余計強くなります。言語面でのハンディを考えると、やっぱり助けてあげたいですね。確かに、そういう制度がない。

学生記者 中大の設備などで、「こうしてほしい」と思うことはありませんか。

盧 11号館に留学生が自由に使えて、たまり場のようになっているミーティングルームというのがありますが、そこにパソコンが一台しかない。学部棟にもパソコン教室がありますが、授業では使えないこと



「SPUTNIK」 の多国籍料理

旗揚げパーティー 大いに賑わう

(リード文参照)

もあります。もう少し利用しやすくしていただきたい。あとは、日曜日にも図書館を開けてほしいなと思います。

広報課長 図書館については、そういう要望は確かに多いです。あとは学校の体制の問題ですね。

林 交換留学生にはアパートやマンションが用意されていますが、私費留学生にも安い物件を紹介してくれるだけでもいいから、お願いしたいですね。私たち私費留学生は、交換留学生と違って留学期間が長いので、家賃は大きな問題なんです。とにかく、1カ月の生活費の3分の1から半分ぐらいを占めちゃうのです。

学生記者 みなさん、バイトはどのくらいしているんですか。また、中大生の生活ぶりを、どうみていますか。

林 週に4〜5日、清掃のバイトをしています。みんな、つまらない授業でも授業に出ているのにはびっくりしますね(笑い)。でも、全体的には、よく勉強しています。図書館を見ればわかります。将来のため、

資格の勉強に力を入れている人が多いみたいだね。日本ではいったん社会人になってしまうと、あとの人生が大変なようですから、今のうちから遊んでおいてもいいんじゃないですかね。

ヘーマーウイン 私はいまはバイトはやっていません。確かに、大学の授業により、資格の勉強をしている学生は多いですね。

盧 この5月から減らしたのですが、週2日、工場で徹夜のバイトをしています。一般学生については正直言って、なに考えてるのかわからないです(笑)。遊びながら、自分の方向性を決めていけばいいんじゃないですか。

国へ帰っても「中大はいい」っていう

学生記者 日本に来てみて、びっくりしたことは。

盧 女性がタバコを吸うのには驚きました。街を歩きながら吸っている人もいますし、学校でもいますよね。(びっくりするのは)多分、韓国の人だけだと思いますけれど……。

ヘーマーウイン 日本の女性は社会的に自由があると思いますね。例えば、ミャンマーではミニスカートをはいてはいけません。伝統的な衣装、日本でいえば着物のようなものを着なきゃあ、いけないんです。

学生記者 中大を卒業後、何か、自分の目標のようなものがありましたら。

盧 卒業したら、母国に帰ります。将来は、母国の後輩のために、奨学金制度をつくりたいと思っています(一同、「すごい」)。

ヘーマーウイン 貿易関係の仕事をしたいです。大企業ではなく、実績のあるベンチャー企業で仕事をしながら勉強し、将来はミャンマーで自分の会社を持ちたいです。

林 僕の知っている大抵の台湾人留学生は、卒業すると母国に帰ってしまう。僕は実際に日本で仕事をして実務的な経験を身につけたい。いまは、日本と台湾を結ぶ貿易を扱う商社に勤めたいと思っています。

学生記者 最後に皆さんが母国の後輩に対し、中大を誇りを持って勧めることはできますか。

盧 それはもう。

ヘーマーウイン もちろんです。

林 僕も(中大はいいよって)いいですよ。

盧 中大が一番いいってことですよ。

広報課長 逆に日本の学生に聞きたいよね。中大はいいって、胸を張って見えるかどうか。学生記者の諸君はどうですか。

学生記者 勤めますよ。大学を受験する時から、ここがいいって思っていました。設備もいいし、広いし、通学にも多少不便はあってもそのマインナスをカバーできるものが十分あります。大学でこつした学生記者をやったり、サークル活動に加わったりして、学生生活を十分楽しんでいきます。胸を張って「中大はいい」といいます。

司会 きょうは長いこと、有益な意見をありがとうございます。話を聞いてみると、それぞれ文化・環境の違うところで育ちながら、いったん中央大学という一つの屋根の下に集ると、すべての世界は一つになるから不思議です。どうか、留学生の皆さんは中大生の自覚をしっかり持ち、卒業されてからも、未永く中大を見守ってください。

座談会を終えて

「同じ中大生だな」ということを実感しました。その一方で、日本語をとても上手に話すことや、目的意識や将来への思いなど、しっかりと考えた考えを持っていることに、ただただ感心させられました。(玉井)

中大生と留学生の「相互の歩み寄り」が必要であるということ。この話が一番、印象的でした。いままで留学生との交流もなく、3年間を過ごしてきた自分が悔やまれます。私にとって新たな発見です。(木瀬)